

祝 創立75周年
令和7年度10月号



咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



失敗こそが学び

園長 北村 恵

朝晩は涼しくなってきましたが、日中はまだまだ30度を超える日が多く、寒暖差に体調を崩しやすい季節となっています。夏の疲れも出る時期ですが、幼稚園の子供たちはとても元気でエネルギーに溢れています。

運動会が近くなり、少し難しいことにチャレンジしようとする姿が増えてきています。特に5歳児は、縄跳びや鉄棒などに、自分なりの目当てをもって取り組む姿が見られます。しかし、簡単にはできるようにならず、うまくいかないこともたくさんあります。一度の失敗で心が折れてしまって、チャレンジをやめてしまったり、難しそうだなと感じると挑戦すること自体をあきらめてしまったりする姿を見ることがあります。

そんな時こそ、先生の出番です。うまくいかなかった原因は何だったのか、どこを工夫したらできるようになるのか、一人一人に寄り添いながら、子供と一緒に考えたりできるまで励ましたりします。そして「最後まであきらめずにチャレンジしたことでやり遂げることができた！」と達成感をもてるようになるまで支えていきます。

時々、「失敗してはいけない。間違えてはいけない。ちゃんとできなければいけない。」という価値観に縛られてしまっている子供もいます。でも、大人だってたくさん失敗します。間違えることだってよくあります。失敗しても怖くない、と思えるようになるといいなと思います。

私の担任時代に、ある講師の先生に言われた言葉で強く印象に残っているものがあります。学級の幼児が制作をしている時に、切らなくてもいいところを切ってしまい「間違えた！失敗した～」と叫んで、作っていたものを破り捨てようとした時に、その先生が言った「失敗なんてないんだよ。」という言葉です。そのあと「裏からテープで貼れば大丈夫。そこからやり直せるから、捨てないで。」と言われたのです。その言葉に私はハッとしました。それまで、子供たちが「間違えたからもう1枚頂戴」と言ったり、失敗した制作物を捨てたりする姿に対して、深く気にせず受け止めていたことに気付きました。

その後、講師の先生に、「自分で作ったものはどんな形でも自信を持っていい。失敗と思った時こそが新しい方法を知るチャンス。やり直しはいくらでもできる。」などの話をさせていただき、失敗こそが学びの大きなチャンスだと思えるようになりました。そして、「失敗なんて怖くない！大丈夫！」と思えるような子供たちを、これからも育てていきたいと思っています。